

## 令和4(2022)年度「心にのこる看護エピソード」入賞作品

「心にのこる看護エピソード」は、栃木県看護協会が「看護の心普及事業」の一環として、県民の皆様に看護にまつわる忘れられない思い出やエピソードを募集しているものです。

今回、9点の作品が寄せられました。厳正な審査の結果、選出された最優秀賞作品1点、優秀賞作品3点をご紹介します。

### 最優秀賞 菅野 莉子さん



#### 「未来へ繋げて」

「貴方が笑顔で過ごしているだけで、周りの人は充分幸せになれるんだよ」

これは、私が2ヶ月近く入院した時にとある看護師さんが言ってくれた言葉です。

緊急入院だったことやコロナ禍で家族とも会えないこと、ちっとも良くならない体への苛立ちなど、かなり気持ちも不安定になっていた入院期間...病室で泣き叫ぶことも多々ありました。

そんな時、近くで見守って支えてくれたのが看護師さん達でした。

言葉かけだけでなく、文字通りの「手当て」をして安心させてくれたり、時には私にとって処方された薬よりも即効性と安全性のある治療薬になってくれました。

そして退院が近づくにつれ、嬉しさは勿論ありましたが病気が増えてしまったことに対しての不安や、こんな自分に何が出来るのか...と思い悩んでいた時に、最初に書いた看護師さんのこの言葉がこの先進んでいく私のお守りになりました。

今だけでなく、未来の私まで救ってくれた看護師さんには感謝しかありません。

### 優秀賞 篠崎 純子さん



#### 「よみがえった私の髪の毛」

「治療が終わればちゃんとはえてくるんだから大丈夫よ。だから私が髪を洗ってあげる。さっぱりして退院するといいわよ。」と私にほほえんだ。頭のすみずみまで洗い、頭皮マッサージまでしてくれた。

生まれて来てずっと、手術や病気などした事もない私が、ガンの告知を受け、手術をし抗ガン剤投与をしいられた。感染症をおこし再度入院。痛みと不安で先の見えない毎日におびえた。枕元にぬけた髪がへばりついていて退院前日、髪を洗う事も、とかす事もできずオロオロしていた。丁寧に洗ってもらって「ああ、気持ちよくてさっぱりした。」不思議と勇気がわいた。「髪がぬけたからと言って簡単に洗っちゃダメよ。シャンプーでちゃんと洗うのよ。」と、念をおされた。「まっ黒でいい髪がまたはえてくるんだから」元気出せと言わんばかりに肩をたたかれた。不安がふきとんだ。

そして今、あれから8カ月、大草原に新芽がいぶくようにまっ黒な髪がはえてきている。ほんとうだ!私は生きている。実感できた瞬間だ。ありがとう。あの時のやさしくもあり、勇気をくれた看護師さん。

## 優秀賞 匿名希望



### 「命をつないでくれた哺乳瓶」

昭和 58 年 6 月、私の子どもは「両側性口唇口蓋裂」という障害を背負って生を受けました。我が子との初対面で、チューブで直接ミルクを胃袋に流し込まれている姿を見た時、ショックで頭の中が真っ白になりました。

でも看護師さんが「直接母乳は与えられないけれど頑張って母乳を搾って赤ちゃんに飲ませましょう。」と言って、しょげている私を励ましてくださいました。また哺乳瓶の乳首の穴を少し大きくして吸引力が弱い赤ちゃんでも飲めるように工夫してくださいました。そのかいあって体重も順調に増え、予想外にも母子同時に退院できました。

その後は生後四ヶ月で一回目の口唇裂の手術、成人するまで三回の大きな手術入院をし、その都度献身的な看護をしていただきました。あの当時の医療関係者の皆様、本当にありがとうございました。

現在娘は 38 歳。高校講師となり、結婚もし、弓道を趣味として充実した日々を送っております。

## 優秀賞 匿名希望



### 「看護師さんへの感謝」

僕が 4 年生の時に大好きなおじいちゃんが亡くなりました。

おじいちゃんの病気は、心筋梗塞でした。おじいちゃんは、突然朝、心臓が止まり、救急車で入院しました。ICU に入り、心臓は動き出しましたが、体が動かなくなるといわれて僕は頭が真っ白になりました。その後は、目を覚まして奇跡的に一般病棟に入院になりましたが、心臓に「ペースメーカー」という機械を入れました。

しかし、また病院に入院することになり、僕は毎日病院に行きました。でも ICU というところだったので、おじいちゃんに会えませんでした。おじいちゃんの状態が悪くなった日、看護師さんが特別に ICU に入れてくれて、おじいちゃんの手をにぎることができました。そして、おじいちゃんに、「これからは、野球も勉強も頑張るね」と話しかけることができました。たくさんの看護師さんが僕をたくさんはげましてくれました。

最後に、おじいちゃんに会えて、話せて本当に良かったです。ICU に入れてくれた看護師さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

5 月 12 日は



看護の日

看護の心をみんなの心に